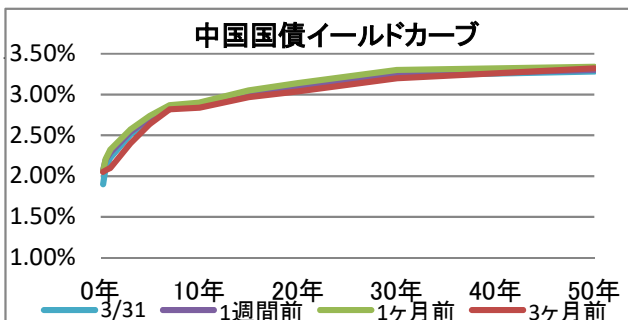
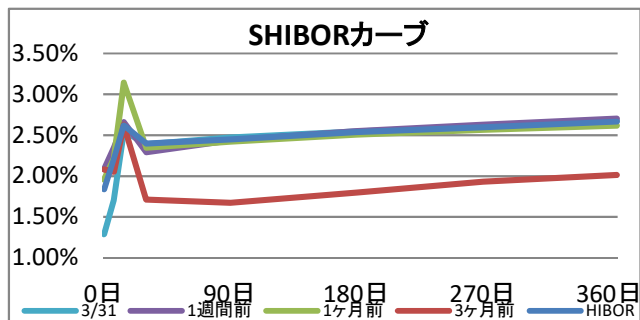


基準レート		2023/3/31	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8717	+0.0343
	JPY/CNY	5.1693	-0.0593
SHIBOR	3M	2.4480%	-0.0250%
国債利回り	10年	2.85%	-0.02%
上海総合指数		3,272.86	+7.21



(1) 概況

国際金融市場では、金融システム不安への懸念が後退するにつれ、株式が買い戻され、債券が売り戻される(利回り↑)展開となっていたものの、注目された米PCE価格指数の鈍化が確認されると、債券市場では買い戻しが入り、債券利回りは前週末比での上昇幅を縮小し、外為市場ではドル安が進んでいる。

中国金融市場では、人民銀行の預金準備率引き下げとオペによる多額の資金供給により短期の資金市場は安定し、四半期末を控えて株式市場、債券市場とも動意なく、小幅な値動きに終始し、外為市場では月末要因からドル買い確りの展開。

中国では、習主席が各国首脳との会談で、対外開放や質の高い成長を推進し、各国の発展に新たな機会をもたらすと主張し、李強総理は、ボアオ国際会議等で、対外開放や貿易投資自由化レベル向上を通じたビジネス環境改善方針を強調し、一方的な制裁や貿易保護主義・デカップリングへの反対を表明。また、林外務大臣との会談では、日中は重要な経済貿易パートナーとして、デジタル、グリーン、財政と金融、医療介護等の面で協力を強化すべきと主張。易人民銀行行長は、ボアオ会議で、中国のグリーン貸出・債券の拡大状況を紹介し、易証監会主席は、外資系金融機関経営者との会談で、中国の質の高い発展と資本市場の対外開放がより広範な投資機会をもたらす点を強調。人民銀行は、マネロン法体系の改善等を進める方針を示し、証監会は、機関監督業務会議で、正確な監督管理理念を持って業界発展を指導する方針を示した。アリアーツが、証監会に100%出資ファンド運用部門設立を申請し、仏クレディ・アグリコルが、投資銀行部門を設立。この間、アリババグループが、事業再編や新規株式公開の検討を開始。外交面では、台湾・蔡総統の訪米等に対して、断固反対の意思を表明し報復の可能性を示唆するなど、台湾を巡る米中対立が懸念されている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3,500億元に対し、リバースオペ11,610億元を実施し、ネットで8,110億元を供給している。また、27日に0.25%の預金準備率引き下げを実施している。

(3) 主な経済指標

・国家統計局PMI (3月) は、製造業が51.9% (2月、52.6%) に低下する一方、非製造業が58.2% (2月、56.3%)、総合では57.0 (2月、56.4%) と上昇し、いずれも3か月連続で50を上回った。製造業では、全サブ指数が悪化しているものの、非製造業は、小売、鉄道・道路・航空運輸等コロナの影響を強く受けた業種が60%を超えるなど全体の回復を牽引。

・工業企業利益 (1-2月) は、前年比-22.9%と大幅な減益となった。電力・熱力等 (前年比+38.6%) は大幅な伸びとなったが、製造業 (同-32.6%)、特に自動車 (同-41.7%) がEVに対する補助金終了の影響等により大幅な落ち込みとなったほか、PC・通信等電子設備関係 (同-77.1%) も、需要低迷から減少が続いている。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.8380%	1.8100%	3.0000%	
1W	2.2150%	2.6000%	3.5000%	
2W	2.6220%	2.7000%	2.4000%	2.0000%
1M	2.4000%	2.7000%	7.5000%	2.2000%
3M	2.4480%	2.6000%		2.3800%
6M	2.5390%	2.8500%		2.4000%
9M	2.5990%			2.5000%
12M	2.6660%			2.6000%

中国人民銀行が預金準備率の引き下げに加えてオペにより大量の資金供給を行ったことから、四半期末を混乱なく乗り切ったものの、四半期末越えのターム物金利水準はやや上昇。ターム物は、未越えの1ヶ月が2.9%前後に上昇して取引されていた以外、出合いは限定的。

NCDも、預金準備率引き下げにより銀行の調達姿勢がやや弱まったことから、狭いレンジ内での取引が続いている。四半期末要因剥落後のターム物の金利水準は、1ヶ月が2.2%前後、3ヶ月と6ヶ月が2.4%前後、1年が2.6%前後に低下している。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	4.86%	4.90%
1W	5.00%	5.05%
1M	5.20%	5.25%
3M	5.30%	5.40%
6M	5.40%	5.50%
12M	5.50%	5.60%

金融システム不安が後退したことや、四半期末を控えていること等から、ターム物の出合いは引き続き限定的。ターム物の金利水準は、1ヶ月は5.2%前後、3ヶ月は5.35%前後が取り気配となっている。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.90%		2.50%	2.60%	2.76%
6M	2.11%		2.53%	2.67%	2.83%
1Y	2.23%	2.29%	2.65%	2.77%	2.95%
3Y	2.51%	2.66%	2.84%	3.08%	3.64%
5Y	2.68%	2.84%	3.02%	3.29%	3.98%
10Y	2.85%	3.02%	3.24%	3.53%	4.35%

欧米における金融システム不安の後退により欧米の債券利回りは急上昇に転じたものの、米PCE価格指数の伸び鈍化が確認されると週末のポジション調整もあって低下に転じ、前週末比での上昇幅を縮小して週末を迎えている。中国国内債券市場では、四半期末を控えていることもあって様子見姿勢から小幅な値動きが続いている。米国では金融システム不安の後退により10年国債利回りが3.47%（前週比+9bp）で週末を迎えており、10年中国国債（2.85%、-2bp）に対する上回り幅は+62bp（同+11bp）と3週間ぶりに拡大に転じている。

イールドカーブは、短期の利率債を中心に小幅に低下する、四半期末を控えた調整中心の展開に終始し、ややスティーピングしている。クレジットスプレッドは、利率債利回り低下によりやや拡大したものの、四半期末の調整の範囲内。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-172.5 / -171.5
3M	-538.0 / -533.0
6M	-1050.0 / -1040.0
9M	-1440.0 / -1430.0
12M	-1760.0 / -1750.0

対ドル基準レートは6.8717と前週末比+343pipsのドル高元安、対円基準レートは5.1693と同-593pipsの円安元高と、市場でのドル高を映じた設定となっている。中国国内市場では、月末の外貨需要に加え、欧米での金融システム不安への懸念の後退から下値は固く、週末の統計局PMIまでは上値も重く、狭いレンジ内での取引が続いていたが、統計局PMIが予想を上回ったことから人民元がやや買い戻されて週末を迎えている。

先物は、米国での金融システム不安の後退による金利上昇に伴うマイナス幅が拡大に転じており、1年では-1700台での取引が続いている。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.25%		1.75%
6M	2.27%	2.49%	1.88%
9M	2.30%	2.52%	1.93%
1Y	2.34%	2.58%	1.95%
3Y	2.61%	2.93%	2.05%
5Y	2.82%	3.22%	
7Y	2.95%	3.37%	
10Y	3.10%	3.50%	

スワップ金利も、債券市場同様に動意ない中でやや低下している。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、債券利回りが四半期末の需給関係から短期が大きく低下したことを受けて大幅に拡大しているものの、それ以外は概ね前週末と変わらない水準となっている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はおお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入